

「組織力向上」に係るアンケートより①

先日は「組織力向上」の指定に係り、いくつかのアンケートに答えていただき、ありがとうございました。今回は、そのアンケート結果についてご報告します。

- 1-(1)** 教科会での話し合いは、自己の指導力向上につながった。 7月：96.6% (強い肯定 62.1%)
2月：100% (強い肯定 65.5%) 
- 1-(2)** それはどのような取組が良かったからか、あるいは足りなかったからか。 *以下、2月のアンケートより抜粋
- 国語** ・単元構想を共有することで、自分の考え（固執した考え）のみに陥ることなく、多様な切り口があることが学んでいる点。
・資質・能力や系統性を意識できたから。
- 社会** ・学習指導要領を読み合い、教科会として単元構想、授業づくりを行えた。
・めあてに対しての方向性や授業内での資料活用の手法を学んでいる。
- 数学** ・日々の授業について確認したり、一緒に創り上げることができているから。
・単元を通してどんな力を身に付けていくのか、自分の捉えだけでなく全体で考えることで明確にできた。
- 理科** ・他の教員の話聞くことで自分の授業の振り返りができた。
・教材研究、授業への取組、テスト関係。 新たな視点や大切なことが学べた。
- 音/美/技/家**
・生徒の実態把握や授業の構想を共有し合えたのでとても勉強になった。
・指導内容や指導方法等を共有し、方向性を統一することができた。
- 体育** ・自分では想像しえなかったり、新しいことが知れたから。
・思考を促すための提示物や資料などの共有ができ、見通しを持って準備することの大切さを感じた。
- 英語** ・指導案や単元計画についての協議を通して目指していく授業のイメージが明確になりつつある。
・単元計画、評価規準の共有ができる。

- 2-(1)** 教科会での話し合いは、子供たちの学力向上につながった。 7月：96.6% (強い肯定 44.8%)
2月：86.2% (強い肯定 24.1%) 
- 2-(2)** それはどのような取組が良かったからか、あるいは足りなかったからか。 *以下、2月のアンケートより抜粋
～それぞれの評価点に関わる考え～
- 国語** 4 力が十分についているとは思わないが、教科会での話し合いがなければもっとつけられていないと思う。まだやれることはあるだろうが、その時々ベストは尽くそうとしたと思う。
3 学力調査の分析から課題を明確にして取り組んだが、徹底するところまではできなかった。
- 社会** 4 生徒の情報交換や資料活用のあり方など、共通意識を持てた。
3 身に付ける資質・能力を明確にしていったこと。
- 数学** 4 ステップタイムや宿題の取組。
3 1つ1つの授業展開について話し合うことができているから。
定着できていない子供に対して組織で対応できる。(補習など)
3 各学年担当に任せすぎた面があるので、今後修正したい。
- 理科** 4 授業の重点を話し合うことができ、共通の認識が持てた。
3 足並みを揃えて指導できるから
- 音/美/技/家**
3 学力の向上を見取る指標の確認が足りなかった。
3 どの学習場面でどんな姿が見られたか共有できたので良かった。
- 体育** 3 他教科と一緒にだと、何となく同じ部分を共有することに留まる。
3 教科の目指すものを再確認できたから。
3 共通確認して、同じ基準で指導することができたから。
- 英語** 3 全員で単元計画を話し合ったりゴールイメージを共有できた。もっと子供の姿（ノートや授業参観）をもとに話ができれば良かった。教科で決めた取組の確認などを早くから取り組めたらよかった。
2 定期テストや小テスト、ノートの記述をもとにした協議や自分たちの振り返りがもっと必要だった。
2 どんな活動でどんな力を伸ばすことをねらうか、という具体まで迫ることが十分にできなかった。

県版調査の自校採点后から、各教科で全国調査までのスケジュールを立てて取組を実施していますが、先日から、西部教育事務所の指導主事が来られて今後の取組について各教科主任に提案や助言をいただいています。特に

・課題があった問題をどのように定着させていくのか、

・定着具合をどこで見取り改善を図るのか、
等、**取組の徹底、検証・改善の徹底**について確実に話し合っておくように言われています。来週には各教科の定着度の確認のお電話が各教科主任にあるのではないのでしょうか。再修正したスケジュールで確実に取り組んでいきましょう。

